

(別紙5)

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-054  
補助事業名 平成26年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 (N) リトル・クリエイターズ

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

- ①日本とアジア（シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン）の子どもたちが表現活動を通じて交流する場を作ること。
- ②日本とアジアの若いアーティストの交流、共創の成果を発表すること。
- ③児童養護施設の子どもたちたちが自分を表現する機会を提供すること。また、人前で発表するための訓練（ワークショップ）を施すこと。
- ④本事業終了後も出演者たちが国際交流を継続し、子どもたちのアジアネットワークを広げること。
- ⑤出演者が、2015年以降に開催されるシンガポールやマレーシア他で演奏や交流事業に参加する機会を提供すること。また、国内で活躍の場を見出すこと。

#### (2) 実施内容

<http://www.childaidasia.com> (URL)

<https://www.facebook.com/childaidasia>

##### 1) 聖園子供の家 美術ワークショップ

6月より毎月、美術ワークショップを開催。

- ①紙皿で仮面を作る
- ②色の三原色を混ぜ合わせて半紙に塗って自分の色紙を作り、貼り絵を作る
- ③Friendshipコンサートに来日予定のシンガポールの子供たちに絵手紙を書く
- ④全員でシンガポールのYu Neng小学校に寄贈する絵を書く
- ⑤粘土で船を作成
- ⑥紙皿で万華鏡作り

等、多彩な手法を取り入れ、子供たちが創造力を発揮できるよう工夫した。ワークショップには『チャイルド・エイド・アジア』出演経験者がボランティアで参加、子供たちの作品作りを手伝ってくれた。

本事業が回を重ねることによって、参加した子供たちに「人の役に立ちたい」という気持ちが芽生え、心強い支援者に成長している。

(別紙5)



## 2) 出演者オーディション (8/5)

会場：赤坂区民センター

書類選考に通過した12名が実演して審査した結果、8名の出演者を選考した。



## 3) 石神井学園 (児童養護施設) ワークショップ

Friendshipコンサートでは、石神井学園の6名が「おもてなし隊」として海外の出演者のフォロー役を担当。合わせて、各国および日本の文化について発表した。各自が担当する国について、数回のワークショップを通じて内容を練り上げ、プレゼンテーションの練習を行った。また、「おもてなし隊」を含む20名が、オープニングとフィナーレの合唱に参加、歌の練習を行った。



#### 4) 出演者交流会 (石神井学園)

石神井学園の子供たちと出演者の交流会を開催。コマ、羽子板、皿回しなど、日本の遊びを一緒に楽しんだり、シンガポールで流行っているアクセサリ作りを教えてもらったり、子供たちは、言葉や文化の違いを超えて、友情を築いていました。



#### 5) リハーサル (2015/1/9~11)

「Friendshipコンサート」では、各国の出演者たちが音楽を通じて交流を深められるよう、ソロではなく、異なるジャンルの出演者たちがコラボレーションする曲で構成しました。2日間という短い時間でしたが、お互いに刺激を与え合う、密度の濃いリハーサルとなりました。



#### 6) 『チャイルド・エイド・アジア～Friendshipコンサート』(1/12)

本コンサートは、1月12日(祝)、秋篠宮妃殿下、在日本シンガポール大使にご臨席いただき、イイノホール(霞ヶ関)にて2回公演を開催しました。

出演者は、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの子どもたち58人。お客様からは、「アジアの国の子どもたちが音楽を通して国際交流を深め、歌、合奏、ダンス、どれをとっても素晴らしく感動し、心温まるコンサート」とご好評いただきました。

また、児童養護施設・東京都石神井学園の6人の子どもたちが司会を務め、終演後には秋篠宮妃殿下にお言葉をかけていただきました。昨年の『チャイルド・エイド・アジア2014』に続いての2度目のご臨席に、誰かに自分のことを見ていてほしいという

(別紙5)

心の声が妃殿下に届いたのだと感じたのでしょう。その興奮ぶりと笑顔は本コンサートの趣旨を再確認させるものでした。

なお、本コンサートは、厚生労働省、東京都の後援をいただき、東京都知事の舛添要一様からは当日配布したプログラムにメッセージを、内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 小泉進次郎様には昨年引き続き電報を頂戴しました。



## 2 予想される事業実施効果

### 1) 社会的ハンディのある子どもの活躍

『チャイルド・エイド・アジア～Friendshipコンサート』は、前回の『チャイルド・エイド・アジア』に出演した児童養護施設の子供たちから、自分たちももっと積極的に参加したいという要望をうけて構成を見直したものです。音楽以外の表現方法でどれだけ彼らが舞台の上で中心的に活躍ができるかが鍵でした。

#### ■司会と国紹介

石神井学園の子どもの中から希望する6人にそれぞれ国を一つ選び、観客に対して紹介をするように課題を与え、夏から国情報の調査、台本、発表の指導を行

いました。それぞれにユニークな視点を持ち、また自分自身が抱える課題などとも重ねながら準備を行いました。彼らの意気込みに応え、進行役も任せることにしましたが、練習を重ね、見事に重責を果たしました。

#### ■おもてなし隊

上述の石神井学園の6人に海外からの出演者がリハーサルで不自由をしないようお世話をするという役割を与え、事前に多少なりとも英会話などにも取り組みました。が、お世話をするより仲良くなることに重きがいていたようです。

#### ■合唱参加

今までのコンサートと同様に、テーマ曲の合唱に参加しました。(石神井学園)

#### ■美術作品紹介

昨年度から毎月開催している児童養護施設 聖園子供の家の美術ワークショップで子どもたちが作った作品を舞台上や当日配布プログラムで紹介しました。(聖園子供の家)

#### ■コンサート鑑賞

聖園子供の家や双葉園の子どもたち、そして石神井学園出演メンバーの関係者がコンサートを観覧、惜しめない拍手を仲間たちに送ってくれました。

### 2) 若い才能の発掘

邦楽、洋楽器、歌などオーディション参加者のジャンルが広がりつつありますが、今回は特にピアニストから応募がたくさんありました。そこで、ピアノと歌を中心に楽曲を選定し、コンサートの構成を考えました。コンサートの山場となった『サウンド・オブ・ミュージック・メドレー』は、オーディション応募者の演奏をヒントに再構成したものです

また、各国の出演者と共演したボーカルの吾妻真優さんは、すでに『Child Aid Asia @ KL』(2015年8月21日-23日予定)とインドネシアで今年始めて行われる予定の『Child Aid Asia@ジャカルタ』への出演を打診されています。

### 3) 日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピンの交流

今回は、新たにフィリピンから出演者を迎えました。2011年はシンガポールと日本のジョイント・コンサートでしたが、回を重ねるごとに、マレーシア、インドネシア、フィリピン参加国を増やし、子供たちのASEANネットワークに成長しつつあります。

#### 4) 支援の輪の広がり (OB・OGの活躍)

何よりも誇らしくまた有り難い支援は、過去に『チャイルド・エイド・アジア』に出演したOB・OGが積極的にバックステージの手伝いをしてくれたことです。

お弁当配りやゴミ処理、リハーサルでの演奏アドバイスや本番での譜めくり、コンサート会場での寄付金集めなど、大活躍でした。コンサート終了後のレセプションでは、1月生まれの出演者のためにHappy Birthdayをテーマ曲とアレンジして演奏してくれて(指揮、ピアノ、フルート、バイオリン、ギター、歌)、本当に特別な誕生日プレゼントを贈ってくれました。コンサートを続けることにより、子ども同士で助け合えるコミュニティーが育まれていることを実感し、嬉しく思っています。

### 3 本事業に係る成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

5/23	オーディション告知チラシ	200部
6/13	オーディション告知チラシ	1,000部
6/26	オーディション告知チラシ	5,000部
11/14	チラシ①	5,000部
12/15	チラシ②	2,000部
12/18	チラシ③(カンフェティ配布分)	8,000部
1/10	プログラム	1,000部
1/10	アンケート	600部
1/21	プログラム増刷	200部
3/31	開催報告書(PDF)	

#### (2) (1) 以外で当事業において作成したもの 特になし

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人リトル・クリエイターズ

住 所： 〒107-0062

東京都港区南青山2-2-15 ウィン青山1403

代 表 者： 理事長 長谷川仰子（ハセガワキョウコ）

担 当 部 署：

担 当 者 名： 理事 山下真智子（ヤマシタマチコ）

電 話 番 号： 03-6869-7282

F A X： 03-6893-3931

E - m a i l： [machiko@littlecreators.jp](mailto:machiko@littlecreators.jp)

U R L： <http://www.littlecreators.jp>

<http://www.childdaidasia.com>